

7つの習慣J通信

創成館高等学校1学年
NO.00

2018年4月26日発行

本時は「7つの習慣J」0時間目「オリエンテーション」という授業を実施しました。7つの習慣についての本格的な授業は次回から始まりますが、その前に生徒のこの授業に対する期待感を高めてもらうことと、「成長したい」「そのために自分を変えたい」という気持ちを醸成するために、「ゼロ時間目」としてオリエンテーションの位置づけで実施しました。演習やVTR視聴、クイズなどを通じて楽しく学んでもらいます。

授業の主な内容は以下の通りです

◆0時間目の内容は・・・◆

授業の最初に、自己紹介ゲームをしました。このゲームを通じてお互いについて知り合うとともに、チームで団結することの必要性を実感します。その後ゲームの振り返りの際に、7つの習慣について以下のような話をしました。

7つの習慣は、簡単に言うと「人生で成功するために必要な習慣」だと思ってください。ここで言う「成功」とはお金持ちになることとか有名人になるという意味ではなく、自分の夢や目標を実現する人と思ってもらえばよいでしょう。

つまり別の言い方をすると、なりたい自分になる、ということです。皆さんはどうでしょうか？ なりたい自分になれるそうですか？ なるそうです！という人もいられるでしょうし、無理です、と思っている人もいられるでしょう。もしかしたらなりたい自分なんてないとかわからない、という人もいられるかもしれませんね。今はそれで構いません。大事なことはこれからこの授業などを通じて、なりたい自分を明確にし、それを目指して生きていけばよいのですから。

続いて、2014年に開催されたチャレンジカップ2014のグランプリ決定戦のVTRを視聴しました。次のような内容です。

勉強が大嫌いで夢も目標もなかった女子高校生が、チャレンジカップへの参加をきっかけに大学受験に挑戦することに。大学に行くつもりなど全くなかった彼女が受験を決意したのは、塾の先生からの「この挑戦は自分に自信を持つため、成長するため」という一言でした。周囲の人たちに支えながら猛烈に勉強した彼女は、30台の偏差値を60まで上げ、見事大学受験合格を果たしました。彼女はこの1年のすさまじい挑戦から得た気づきを伝えます。

彼女の発表を聞いて「人は変わることができる」ということを学びました。

最後にこんなクイズを出しています。「成功の反対って何でしょうか？」このクイズでは、多くの人が失敗って答えますが、「7つの習慣J」の授業では不正解です。理由は、成功するためには必ず失敗がつきものだからです。例えば小学生の頃に逆上がりをマスターするとき、一発目でいきなりできる人なんてほとんどいないはず。何度も何度も失敗して、それでも諦めずにチャレンジしてみてもついに成功したのではないのでしょうか？ そう考えると、成功の反対は失敗ではないのです。それでは何が成功の反対なのでしょう？

そうです、何もしないことです。成功の反対は何もしないということなのです。何もしなかったら成功できるはずはありません。何もしなければいつまで経っても自分は何も変わりません。このように、夢や目標の達成に向けて、まずは一歩目を踏み出すことが大事なのだということを伝えています。

わたしの気持ち

自分は無理そうだなと思ったら、とてあえずはやってみるけど、何回か壁に当たったら諦めてしまいがちなので、今回の動画を見て、変わらなければと思いました。壁に当たってもそこで止めるのではなく、数日おいて再チャレンジしてみたり、他の方法を試してみたいなと思います。

初めて7つの習慣Jの授業を受けて、成功の反対は何もしないということを学んだ。自分は何もせずチャレンジ・挑戦もしない15年間の人生を送ってきた。今日の授業で見た、あきなんのように、何でもチャレンジ・挑戦し、最後まであきらめない心を持ちたいと思った。

今までの私に足りなかったことは、その一歩を踏み出す勇気だと思います。今までの私は物事をできるかできないかで判断してしまっていました。今回の授業で学んだ「できるか・できないか」ではなく、「やるか・やらないか」という考え方を習慣づけていきたいです。その中でわからないことや不安なことがあったら、周りの人に助けを求めるなど、積極的にコミュニケーションをとって、チャレンジしていきたい。

他の人が嫌なことをやっているときに自分が率先して行い、そこでやり遂げることができれば、自信につながっていくと思います。いろいろなことに挑戦していけば、その時、その瞬間にしか味わえない達成感があると思います。

今回の授業を見て私は、やることを決めてそれに対する決意が自分にはあまりなかったんだとわかった。だから私には、それをやってどうなるのか、どうなりたいたいのをもっと明確にすることが大切なんだと思う。

失敗は怖いけど、するのが普通のこと、挑戦をしないと新しい自分を知ることも、今を変えることもできないんだと気づくことができました。迷っていた部活動もこの授業を受けて、「挑戦してみよう」と自分の中で考えてもいなかった部に入ろうと決めることができました。

今まで、7つの習慣Jの授業はかたいものだと思っていましたが、今日授業を受けてみて、イメージが変わりました。ゲーム感覚で、あまりしゃべったことのない人とも話すことができ、この授業の大切さを感じました。

変わりたいと指をくわえていても、自分を変えることはできません。チャンスを変えることができるのは、他ならぬ自分だけです。自分を変えていくために、トライしていきましょう。

<次の授業は・・・>

この授業は、「7つの習慣」について紹介し、生徒にとってどのように役立つものなのかを学びます。そしてもう1つ、「パラダイム」は間違っている可能性もあり、様々なパラダイムで考えることが大切であるということについて学びます。次回の授業をどうぞお楽しみに。

リーダーシップ開発講座
7つの習慣J

〒854-0063
長崎県諫早市貝津町621番地
TEL 0957-25-1225
FAX 0957-25-1228
HP <http://www.sohseikan.ac.jp>